

七友会 だより



大船渡湾の日の出

INDEX

遠藤会長ご挨拶	2
学部長ご挨拶・ご退任の先生ご挨拶	3
岩大キャンパスだより	4
2020年度評議員会での事業報告	5
2020年度会計決算報告および会計監査報告	6
2021年度事業計画・2021年度会計予算	7
2021年度岩手大学人文社会科学部同窓会会計予算	8
七友会設立40周年記念同窓会を開催します	9
お知らせ	10

これからの予定

- 2022年6月18日(土) 午後1時 2022年度評議員会
アイーナ(いわて県民情報交流センター)
8階 研修室 813
- 2022年7月2日(土) 七友会設立40周年記念同窓会
午後2時～5時
ホテルメトロポリタン盛岡本館

岩手大学人文社会科学部同窓会 <七友会>

[連絡先] 020-8550 盛岡市上田3-18-34
岩手大学 人文社会科学部内「七友会」宛
電話:019-621-6701 FAX:019-621-6715
Eメール: shichiyu@iwate-u.ac.jp

ホームページ

<https://jinsha.iwate-u.ac.jp/shichiyu/>

岩大 七友会

検索

ご挨拶



ご挨拶

岩手大学人文社会科学部同窓会七友会会長
遠藤 隆

昨年の同窓会報のご挨拶でも新型コロナのことを書いていましたが、年を越しても相変わらず感染の拡大は続いていて、むしろ今年は感染者数が各地で過去最高を更新しています。事態は悪くなっているのでしょうか。しかしオミクロン株という、現在蔓延しているウイルスは軽症に留まることが多く心配はいらないという意見があります。これに対して軽視してはいけないという意見もあって、本当のところはよくわかりません。医療関係者の間では、新型コロナも生き残るために、軽い症状に抑えて広く蔓延させているのだという人もいて、医者というのは面白い見方をするものだなーと思います。

世の中のことはさておき、コロナの影響で昨年延期となってしまった七友会設立40周年の記念同窓会を今年こそ実施したいと思います。7月2日の予定です。もしその時期に今のような蔓延状況だったら、リモート開催も検討しなければなりません。夏ごろには収束するだろうという意見もあって、その意見にすぎるよりほかはありません。我々一期生が大学を卒業したのが41年前の1981年。入学したのは45年前ですから若い卒業生のみなさんはずいぶん古い話だなーと思われるかもしれません。しかし同窓会長として他学部の同窓会長さんと交流すると、人社の私は一番若手です。教育学部の同窓会、北桐会の会長さんは、私たちが体育を教えて頂いた小笠原義文先生です。また農学部、工

学部も先輩方で人社はやはり若い学部だなと思います。ちなみに農学部は今年学部創立120周年。同窓会の北水会発足100周年の記念式典を開催するそうです。私は非常勤講師として長年岩手大学の教壇に立たせて頂いていますが、学生さんは平成10年代の生まれで、自分の娘たちよりかなり若い人を相手にしていますが、同窓会連合会では先輩方とお付き合いさせていただいて、ずいぶん幅広い年齢層と交流しています。これも岩手大学を卒業して、地元で働き続けてきたおかげかと、ありがたく思っています。

今年度は人文社会科学部と県立大学で教鞭をとられた細江達郎先生が、犯罪心理学のご研究だけでなく犯罪被害者や交通事故被害者の支援をしてこられたなどのご功績から瑞宝中綬章を受章されました。先生はご研究や社会貢献はもちろん、行動科学研究室の学生指導にも熱心で、先生の薫陶を受けた学生の中には研究者として活躍している同窓生も少なくありません。40周年の記念大会にもお招きしているので、ご挨拶を頂ければと期待しています。

40周年の記念大会まで半年を切って、事務局は大忙しで準備に追われています。当初の見積より少し安価になりそうなので、その分は料理を少しだけグレードアップしようと思っています。7月2日にメトロポリタン盛岡でお会いできることを楽しみにしています。

横山学部長ご挨拶

人文社会科学部創立45周年を迎えて —本学部学生の変わらぬ「クオリティ」—



人文社会科学部
学部長 横山 英信

「専門深化と総合化」という新しい教育理念を掲げ、1977年5月に人文社会科学部が発足して今年で45年になります。いきなりの私事で恐縮ですが、私は本年9月で還暦を迎えます。入社発足時は中学3年生であり、私の今までの人生の4分の3が人社の歴史と重なっていることを思うと感慨深いものがあります。

昨年の「七友会だより」第50号でもお伝えしたように、発足当初全国で本学部だけであった「人文社会科学部」は、今や6つの国立大学に設置されるポピュラーな学部となりました。これには本学部の卒業生の皆様の社会での御活躍や本学部に在職された先生方の教育・研究の成果が世の中に認められていたことも関係していると思っています。

さて、昨年12月発行の人社の「教育後援会報」第45号でも少し書いたことですが、近年、大学進学率向上の一方で大学生の基礎学力や学習意欲の低下が問題視されていますが、私はそれは人社学生・岩大生にはあまりあてはまらないと思っています。

私は本学部に1995年4月に赴任しましたが、その当時、朝1時限の開始時刻が近づくと、授業に遅れまいと

必死になって自転車をこぎ、教室へ急ぐ学生たちの姿が、遅刻をほとんど気にしない前任の国立大学の学生たちとあまりにも違ったので、「岩大生はなんて真面目なんだ」と心から感心したことを今でも思い出します。また、授業での私語もほとんどなく、与えられた課題やゼミの報告もきちんとこなす人社学生・岩大生に接するたびに「本当にいい大学に赴任できてよかった」と心から思ったものでした。

それから27年経ちますが、このような人社学生・岩大生の「クオリティ」はほとんど変わっていません。そして、この「クオリティ」はおそらく人社設立当初からそうであつただろうと推測しているところです。

多少の個人差はありますが、人社学生・岩大生は総じて真面目であり、たぶん私たち岩手大学の教員は学生への教育指導の面において他大学の教員よりも「相当程度に楽をさせてもらっている」はずで、人社学生・岩大生の「ポテンシャル」も相変わらず高く、岩手大学で4年間みっちり学修すれば、かなりの知識や考える力を身につけられるであろうと感じています。

時を超えても変わらない人社学生の「クオリティ」を踏まえ、大学でいかにその「ポテンシャル」を引き出し、高めていくか。私たち人文社会科学部の教員が学部教育で重点を置くべき点の1つはそこにあると考えています。

七友会会員の皆様の御支援を引き続きよろしくお願いいたします。

ご退任の先生ご挨拶



人間文化課程
教授 山本 昭彦

30年以上、御世話になりました。

フランス語、フランス文学を中心に比較文学、表象文化論などを担当、ユートピア思想や宮沢賢治についても勉強し、最後は現代文化プログラムを担当していました。フランス留学では19世紀の詩人・批評家ボードレールを研究しましたが、その後中世の「ロマネスク」と呼ばれる教会建築や彫刻についても興味が増し、山間の僻地に残る教会をいろいろ見て歩き、授業でも取り上げました。最後の学期の演習は先史時代の洞窟絵画をテーマにしました。人間が何かを描いたり表現したりすることの起源への興味と、ラスコーなどの文化財の保護、保存、展示といった現代文化としてのテーマとしても考えてきました。「現代」を知るには、これまでのことを知っている必要があると考え、現代に限定されない「文化」を対象としてきました。もちろん、直接に今の事象については同僚達が担当してくれていたからこそ安心して分担出来ていたのです。また、賢治の共同研究などのおかげで所謂理系の先生方からもいろいろお話を伺うことが出来ました。研究対象の自由があるのが大学のよいところです。そこから様々な角度からの見方や考え方が掴めます。いろいろな分野や時代を見ることが出来て私としては楽しく過ごすことができました。驚きながらもつきあってくれ、やがて新しい分野に興味を持ち始めてくれた学生達にも感謝しています。



人間文化課程
教授 家井美千子

岩手大学人文社会科学部の創設1977年(昭和52年)の頃、私は岩手大学のことを全く知らずに大学生活を送り、かつ大学教員になることも全然予期していませんでした。それが、学部完成後まもない時期に助手として採用していただき、ここまで何とか無事に教員として過ごすことができたことは幸運としか言えません。

働き初めた数年間は、学生への授業実施に力不足を痛感し、当時の学生の皆さんにはお詫びと感謝を申し上げます。ではその後とはといえば、いわゆる「大学改革」の波に呑み込まれて忙殺され、一連の「教育改革」や学部改組等に多くの時間を費やすこととなって、これまたその当時から今に至るまで、学生の皆さんにまたもお詫びと感謝しかありません。つまりは、優秀で勤勉な代々の学生の皆さんのお陰で、私の大学教員生活は成り立っていたのです。もちろん、同僚の教職員の皆様にも多大なご迷惑をおかけし、助けていただけてきましたけれども。

当初は「地域貢献」など夢にも考えていませんでしたが、それが大学のミッションの一つになったこともあり、さすがに途中から自分が岩手でできることは何かを考えるようになりました。そして、ここ数年は奥州市や釜石市での近代初期までの地域文書の調査を学生とともに行うことでそれを果たそうとしてきました。退職後も継続したいと思っていますので、県内ご在住の卒業生の中にお心当たりの方があれば、どうぞご一報ください。

新型コロナ関連

今年度も岩手大学キャンパスでは新型コロナの発生が続きました。昨年8月にピークを迎えた新型コロナの第5波で、岩手大学によると7月30日から9月13日までの間に7人の感染者が発生しました。その後、感染者は発生しない時期が続いていましたが、第6波の流行が始まると、1月16日から2月3日までの間に（2月7日現在）16人の感染者が発生。全国的にオミクロン株が蔓延する中、岩手大学でも感染者の増加が目立ちました。

感染者は全てキャンパス外での感染で、キャンパスが発生源となったケースはなく、10月からの後期授業は全て対面で行われました。

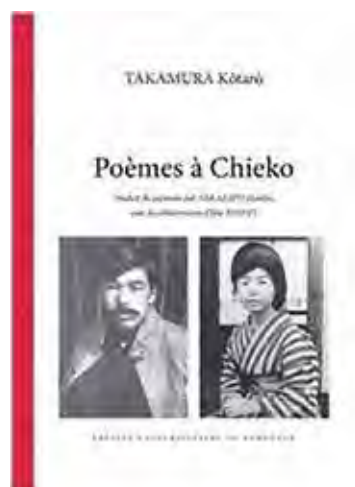


新型コロナウイルスの影響でアルバイト収入の減少が目立つ中、中央学生食堂では昨年7月12日から28日までの13日間、通常350円から400円のメニューを100円で提供する「岩大100円朝食」が実施されました。このイベントは一昨年11月と昨年5月に続き3度目でした。

中里まき子准教授が高村光太郎の詩、 仏訳でフランスの研究者とリモート授業

人文社会科学部人間科学過程の中里まき子准教授が自ら仏訳した、高村光太郎の『智恵子抄』をめぐる考察をエリック・ブノア博士と行いました。ブノア博士はパリ高等師範学校出身で、フランス文学教授資格者。ボルドー・モンテニュ大学教授として研究センター「モデルニテ」の代表を務めています。

リモート授業は今年1月22日に岩手大学と、ボルドーからブノア博士が参加して行われました。これはブノア博士に協力していただいて仏訳した『智恵子抄』の出版記念として行われたものです。



写真は出版された仏訳『智恵子抄』

2020年度評議員会での事業報告

1. 2020年度は、新型コロナウイルス感染拡大が収まらず、活動制限を余儀なくされました。「進路選択セミナー」は、学部就職委員会担当教授とも協議の結果、中止としました。評議員会もやむなく書面表決としました。
2. 会報「七友会だより」については、七友会設立40周年記念同窓会を開催する時期を見極めることとしたことから、発行は2021年4月にずれ込みました。
3. 新型コロナウイルスの影響で生活に困窮している学生のため、イーハトーヴ基金から困窮学生に支援金が贈られることになりました。これを受けて七友会役員でイーハトーヴ基金への寄付を検討しましたが、その後同窓会連合会から基金に100万円を寄付する案が各学部同窓会に対して示されたことから、七友会としてこれを了承することとしました。
4. 新型コロナウイルス感染拡大に伴い経済的に困窮する人文社会科学部学生への支援のため、七友会から岩手大学イーハトーヴ基金特定基金「修学支援事業基金」に対して73万円の寄附を行いました。
5. 七友会設立40周年記念同窓会の準備のため、実行委員会を4回開催しました。

2020度のおもな活動は次のとおりです。

- 2020年4月 岩手大学入学式 中止
- 5月27日(水) 岩手大学同窓会連合第22回理事会(メール会議)
- ~6月2日(火) 議題1: 令和元年度事業報告について
議題2: 令和元年度決算について
議題3: 卒業生・修了生と学長との懇談会(第13回)について
議題4: 令和2年度事業計画について
議題5: 令和2年度予算について
(遠藤会長、鈴木護幹事 出席)
- 6月19日(金) 2020年度評議員会(書面表決)
議題1: 2019年度事業報告、会計決算報告
議題2: 2020年度事業計画(案)、会計予算(案)
議題3: 会則の改定について
議題4: 役員改選
その他
- 6月25日(木) 評議員会(書面表決)
議題1: 2020年度予算の一部修正について
- 8月28日(金) 40周年記念同窓会第1回実行委員会開催
遠藤会長ほか11名参加
- 11月6日(金) 40周年記念同窓会第2回実行委員会開催
遠藤会長ほか9名参加
- 2021年2月5日(金) 40周年記念同窓会第3回実行委員会開催
遠藤会長ほか8名参加
- 3月12日(金) 40周年記念同窓会第4回実行委員会開催
遠藤会長ほか11名参加
開催を2022年7月に延期することを決定
- 3月23日(火) 岩手大学学位記授与式
各学部から学位記受領総代と答辞代表者のみ出席
卒業・修了後の住所届の提出依頼と回収(各コース毎)

2020年度会計決算報告および会計監査報告

今回の会計監査については、新型コロナウイルスの影響で引き続き県境をまたいだ移動に制限があったことから、相澤監査員に監査を実施していただいております。

2020年度 岩手大学人文社会科学部同窓会 会計決算報告

一般会計

<収入の部>

(単位 円)

項目	予算額	決算額	比較増減	摘要
会費	4,060,000	4,060,000	0	203名
前年度繰越金	1,394,249	1,394,249	0	
特別会計より繰入	500,000	500,000	0	
雑収入	21	34	13	34 (利息)
合計	5,954,270	5,954,283	13	

<支出の部>

項目	予算額	決算額	比較増減	摘要
1. 事業費	3,860,000	1,883,579	1,976,421	
1) 会報発行	1,900,000	201,300	1,698,700	
ア. 印刷費	1,200,000	201,300	998,700	封筒印刷代
イ. 郵送費	700,000	0	700,000	
2) 会員活動援助費	150,000	6,000	144,000	岩淵前学長講演会会費
3) 卒業記念品贈呈費	100,000	100,000	0	41期分積立
4) 支部援助費	50,000	0	50,000	
5) 文化事業補助	50,000	0	50,000	
6) 寄附金	1,230,000	1,230,000	0	修学支援73万円、学部への奨学寄附金50万円
7) 同窓会連合負担金	300,000	300,000	0	同窓会連合会費
8) 諸費	80,000	46,279	33,721	弔電、退職教職員記念品代等
2. 会議費	300,000	49,014	250,986	
1) 評議員会会議費	200,000	26,456	173,544	評議員会郵送料
2) 諸会議費	100,000	22,558	77,442	40周年記念同窓会実行委員会会場費等
3. 事務費	1,150,000	914,182	235,818	HP制作料771千円、事務用品、振込手数料等
4. 特別積立金	-	-	-	
5. 雑費	100,000	100,000	0	事務謝金7万円、アルバイト料3万円
6. 学部設立50周年記念積立	-	-	-	
7. 同窓会設立40周年記念積立	-	-	-	
8. 予備費	544,270	0	544,270	
合計	5,954,270	2,946,775	3,007,495	

差引残高 3,007,508 円は、2021年度に繰越いたします。

特別会計

<収入の部>

(単位 円)

項目	予算額	決算額	比較増減	摘要
前年度繰越金	42,794,043	42,794,043	0	
新規積立金	100,000	100,000	0	卒業記念品贈呈費
利息	3,607	3,653	46	利息 (2,311+369+630+343)
合計	42,897,650	42,897,696	46	

<支出の部>

項目	予算額	決算額	比較増減	摘要
1. 一般会計へ繰出	500,000	500,000	0	
2. 積立金	42,397,650	42,397,696	46	年度末積立金額=翌年度繰越金額
1) 特別積立金	26,598,580	26,598,601	21	27,096,290(前年度決算)-500,000(一般会計へ)+2,311(利息)
2) 卒業記念積立	4,375,000	4,375,013	13	4,274,644+369(利息)+100,000(新規積立)
3) 学部設立50周年記念積立	7,402,330	7,402,335	5	7,401,705+630(利息)
4) 同窓会設立40周年記念積立	4,021,740	4,021,747	7	4,021,404+343(利息)
合計	42,897,650	42,897,696	46	

会計監査報告

2020年度の決算について監査を行い、正しく処理されていることを確認いたしました。

2021年5月21日

監査員 相澤文恵 ㊞

2021年度事業計画

1. 2014年6月に学部と共催して初めて開催した「進路選択セミナー」については、学部就職委員会から「学生の就活に対する意識構造の変化」と「学部主催の就職ガイダンスを実施している」との理由で今年度以降セミナーを行わない方向で一致しているとの連絡を受けています。学部側の意向を尊重し、今年度以降の進路選択セミナーは開催しないこととします。
2. 会報「七友会だより」については、年1回の発行とし内容の充実を図ります。
3. 会員名簿の充実と事務機能の強化を図る必要があることから、昨年度できなかった事務担当者の採用やアルバイトの採用等その方策を検討します。
4. 引き続き年間予算の収入と支出の均衡を図りながら予算の執行を行います。
5. 2021年7月に開催予定だった七友会設立40周年記念同窓会は、2022年7月2日（土）に開催を延期します。
6. 七友会設立40周年記念同窓会の開催にむけて実行委員会で準備を進めます。
7. 今年度から岩手大学同窓会連合の会長を七友会の遠藤会長が務めることになりました。監事には稲垣副会長が就く予定です。

2021年度会計予算

1. 今年度は、評議員会を現地とオンライン会議との併設で開催することから、開催に見合う予算を計上しています。
2. ホームページをリニューアルしたことから、そのメンテナンス費用を計上しています。

その他

1. コミュニケーションツールに係る今後の活用方法について
ホームページをリニューアルしたことから、評議員メンバー間のコミュニケーションツールの活用可否について協議します。
2. 同窓会設立40周年記念同窓会開催に係る具体案について
 - (1) 七友会設立40周年記念同窓会
開催予定日時：2022年7月2日（土）14時から
会場：ホテルメトロポリタン盛岡本館
 - (2) 今後、実行委員会で具体的な開催内容等の協議を進めます。
3. 役員の任期は2020年度から2021年度であることから、今年度は役員改選はありません。

2021年度 岩手大学人文社会科学部同窓会 会計予算

一般会計

<収入の部>

(単位 円)

項 目	予 算 額	前年度予算額	摘 要
会 費	4,280,000	4,060,000	新入生209名、在校生5名
前年度繰越金	3,007,508	1,394,249	
特別会計より繰入	-	500,000	
雑 収 入	22	21	利息
合 計	7,287,530	5,954,270	

<支出の部>

項 目	予 算 額	前年度予算額	摘 要
1. 事 業 費	4,580,000	3,860,000	
1) 会 報 発 行	3,450,000	1,900,000	年1回発行予定
ア. 印 刷 費	2,050,000	1,200,000	2020年度支払分(862,813) +今年度分1,187千円
イ. 郵 送 費	1,400,000	700,000	2020年度支払分(645,328) +今年度分754千円
2) 会 員 活 動 援 助 費	50,000	150,000	親睦会、交流会等の補助
3) 卒 業 記 念 品 贈 呈 費	100,000	100,000	42期分積立
4) 支 部 援 助 費	50,000	50,000	支部大会援助等
5) 文 化 事 業 補 助	50,000	50,000	就職ガイダンス等の補助
6) 寄 附 金	500,000	1,230,000	人文社会科学部へ奨学寄附金
7) 同 窓 会 連 合 負 担 金	300,000	300,000	同窓会連合年会費
8) 諸 費	80,000	80,000	慶弔費、退職教職員記念品等
2. 会 議 費	350,000	300,000	
1) 評 議 員 会 会 議 費	200,000	200,000	評議員会諸経費等
2) 諸 会 議 費	150,000	100,000	七友会設立40周年事業関連会議費等
3. 事 務 費	1,000,000	1,150,000	事務用品、40周年記念同窓会通信費、データ管理、HP維持費等
4. 特 別 積 立 金	-	-	
5. 雑 費	100,000	100,000	事務謝金、アルバイト料
6. 学部設立50周年記念積立	-	-	
7. 同窓会設立40周年記念積立	-	-	
8. 予 備 費	1,257,530	544,270	
合 計	7,287,530	5,954,270	

特別会計

<収入の部>

(単位 円)

項 目	予 算 額	前年度予算額	摘 要
前年度繰越金	42,397,696	42,794,043	
新規積立金	100,000	100,000	卒業記念品贈呈費
利 息	3,504	3,607	
合 計	42,501,200	42,897,650	

<支出の部>

項 目	予 算 額	前年度予算額	摘 要
1. 一般会計へ繰出	-	500,000	
2. 積 立 金	42,501,200	42,397,650	
1) 特 別 積 立 金	26,600,800	26,598,580	26,598,601+2,199(利息)
2) 卒 業 記 念 積 立	4,475,370	4,375,000	4,375,013+357(利息) +100,000(新規積立額)
3) 学部設立50周年記念積立	7,402,950	7,402,330	7,402,335+615(利息)
4) 同窓会設立40周年記念積立	4,022,080	4,021,740	4,021,747+333(利息)
合 計	42,501,200	42,897,650	

七友会設立40周年記念同窓会を開催します

実行委員会準備状況

七友会は、1981年3月の設立以来、2021年に設立40周年を迎えました。そこで、40周年の節目に当たり、一堂に会し旧交を温める記念の同窓会を開催しようと実行委員会を立ち上げ、2021年7月3日の開催を目指して、遠藤隆会長を中心に地元盛岡周辺のメンバー14人で構成される実行委員会で準備を進めてまいりました。しかし、新型コロナウイルス感染の収束が見通せないことから、2022年7月2日の開催を目指して1年延期をしていたところです。

いよいよ、開催まで半年となり、開催に向けて、2月3日（木）に実行委員会を再開いたしました。

そこで、改めて実行委員一人一人の意見を聞いたところ、参加者全員一致で開催することを確認いたしました。

まだまだ感染の拡大が続いている状況ですが、実行委員会としては7月までの感染拡大の鎮静化を祈りつつ、一方で可能な限り感染防止対策を行って開催いたします。

また、会場を分散してのオンライン開催も並行して検討しておりますので、たくさんの同窓生の皆さんにご参加いただけますよう、次のとおりご案内いたします。

7月2日（土）盛岡でお会いしましょう！

七友会設立40周年記念同窓会 ～村民代表南川さんのお笑いライブもあります！～

- ◇日時 2022年7月2日（土） 14時～17時
- ◇会場 ホテルメトロポリタン盛岡本館 盛岡市盛岡駅前通1番44号 TEL019-625-1211
- ◇参加者 七友会会員（卒業生・修了生）及び教職員 150人（先着順）
- ◇申込み 会報に同封いたしました返信用はがきで申し込んでください。切手の貼付は不要です。
- ◇申込み期限（第一次）
2022年4月28日（木）必着 ※定員となり次第、締め切ります。
- ◇会費 無料 ※岩手県外から参加する同窓生（先着100名）に旅費のキャッシュバック（5千円）をします。
- ◇アトラクション **七友会会員の村民代表南川さんのお笑いライブ**
- ◇宿泊 宿泊を希望される方は各自で手配をお願いします。会場のメトロポリタン盛岡本館に宿泊する方も、直接申し込んでください。
- ◇その他 新型コロナウイルスの感染状況によっては、会場を東京と盛岡の2か所に分散しオンラインでの開催とする可能性もあります。東京会場への参加を希望する方は、申込みはがきにその旨をお書きください。
また、中止となるときは、HPでお知らせをすると同時に、参加申込みをされた方に個別にご連絡をいたします。



準備の状況は随時 **HP <https://jinsha.iwate-u.ac.jp/shichiyu/>** でお伝えします。

村民代表南川さんがやってくる



【南川さんのプロフィール】

ご出身：岩手県滝沢市、岩手大学人文社会科学部2015年度卒業生
 大学での専攻：心理学（人社・人間科学課程 行動科学コース）
 卒業後のご経歴（芸人としての経歴）：
 ・2017年9月 サンミュージックプロダクションにてデビュー
 ・2018年7月 テレビで初めてネタ披露(NTV「ぐるナイおもしろ荘」)
 ・2019年6月 盛岡劇場にて「岩手若手お笑いライブ」を開催
 ・2020年8月 松坂桃李さんのモノマネでNTV「ヒルナンデス！」出演など

【村民代表南川さんからのメッセージ】

岩大卒業生の中ではトリッキーな進路を選びましたが、なんだかんだ幸せに生きています。
 全く関係ない進路ながら、大学時代に取り組んだサークル活動（劇団かつぱ&落語研究会）と勉強（心理学）が全て今に繋がっているので、岩大を経験していなかったら全く違う人生を歩んでいたかもしれません。
 学祭の際に学生センターの1教室でやっていたネタをテレビで流していただける未来になるとは、1mmも思っておりませんでした。
 皆さんとお目にかかれる機会を増やせるようにライブハウスで踏ん張っております。応援のほど何卒よろしくお願いたします！

会員の皆さん、連絡先をお知らせ下さい

同窓会では、毎年このような会報を発行しています。これらを皆さんに送るためには、連絡先の把握が重要になりますが、転居等で連絡先が不明になることが多く、現在、4割強の方が不明状態になっています。
 連絡先は現住所でも実家等家族住所でも構いませんが、確実に連絡のつくところをお願いします。転居等の際には郵便局への届出と共に、事務局へもお知らせ下さい。
 なお、寄せられた情報は同窓会活動のみに利用されるもので、事務局で一括管理されています。また、会費については、ほとんどの方が入学時に納められていますので、特に請求されることはありません。同窓会活動は、ほとんど会員のボランティアで運営されています。今後の学部の発展及び同窓生の親睦のための活動に、ぜひ御協力下さい。

※友人で会報の届いていない方は、連絡先不明になっている可能性があります。すぐに下記連絡先情報により七友会へお知らせ下さい。

連絡先情報

フリガナ 氏名 (男・女)	卒業 専攻	期 (S H 年 月卒) (コース 課程) 研究室 ゼミ等	封筒にある整理番号 No. _____
現住所 〒			
(自宅) TEL FAX	携帯	勤務先名等 (可能なかぎり)	
E-mail			
家族等連絡先 〒			

訃報

名誉教授 金田 諦元 氏 (享年91歳) 令和3年10月2日 逝去
 【ご経歴】 昭和27年6月 宮城県栗原郡築館町立宮野中学校教諭
 昭和35年7月 北海道浦河高等学校教諭
 昭和37年11月 室蘭工業大学講師
 昭和41年4月 北海道大学文学部講師
 昭和46年1月 北海道大学文学部助教授
 昭和52年4月 岩手大学教養部教授
 昭和52年5月 岩手大学人文社会科学部教授
 平成3年4月 岩手大学附属図書館長 (平成5年4月まで併任)
 平成9年3月 定年退職
 専門：ドイツ文学・ドイツ語・ロマン主義文学・中世文学 等
 金田先生は人文社会科学部学生歌の作曲者です。
 ご冥福をお祈りいたします

大学の動向

今年の卒業式は、新型コロナウイルス感染防止対策を十分に実施したうえで令和4年3月23日(水)に人文社会科学部・農学部と教育学部・理工学部の二つのグループに分けて二部制で岩手県民会館にて卒業生・修了生のみでの参加で行われます。

入学式も同様に二部制で令和4年4月7日(木)に岩手県民会館で行われ、入学生のみが参加できます。卒業式、入学式ともに式典の様子はインターネットでライブ配信されます。詳しくは大学のホームページをご覧ください。

編集後記

新型コロナウイルス感染拡大がなかなか収束しません。オミクロン株に変異してまだに収まる気配が見えておりません。そのような中で7月2日の記念同窓会開催の準備を再開しました。久しぶりに盛岡で再開できるよう祈りながら、準備を進めています。みなさん、感染には引き続き十分注意してください。
 北京で開催された平和の祭典である冬季オリンピックでは、小林陵侑選手をはじめ岩手県出身選手の大活躍で岩手は大いに沸きました。ところがそのオリンピックが終わるや、ロシアとウクライナの戦闘が始まってしまい多くの犠牲者が出ています。両国間には複雑な歴史背景があるというものの、一日も早く停戦交渉がまとまり、平和が訪れることを願います。